

## 計算書に対する注記

### 1.重要な会計方針

(1)固定資産の減価償却について

定額法を採用している。

(2)退職手当引当金について

職員の期末自己都合要支給額を計上している。

(3)消費税等の会計処理について

税込方式によっている。

(4)資金の範囲について

資金の範囲は、流動資産(棚卸資産を除く)及び流動負債である。

なお、前期末及び当期末の次期繰越収支差額は、下記に記載するとおりである。

(単位:円)

| 科目       | 前 期 末 残 高  | 当 期 末 残 高  |
|----------|------------|------------|
| 現 金 預 金  | 77,919,233 | 84,918,544 |
| 未 収 金    | 3,462,000  | 6,764,443  |
| 前 払 金    | 2,825,628  | 2,548,123  |
| 仮 払 金    | 297,740    | 0          |
| 合 計      | 84,504,601 | 94,231,110 |
| 預 り 金    | 144,107    | 297,649    |
| 未 払 金    | 457,528    | 3,622,097  |
| 前 受 金    | 483,000    | 4,316,000  |
| 合 計      | 1,084,635  | 8,235,746  |
| 次期繰越収支差額 | 83,419,966 | 85,995,364 |

2.基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科目   | 前期末残高     | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高     |
|------|-----------|-------|-------|-----------|
| 定期預金 | 4,000,000 | 0     | 0     | 4,000,000 |